

「AKボード」(アーセル)

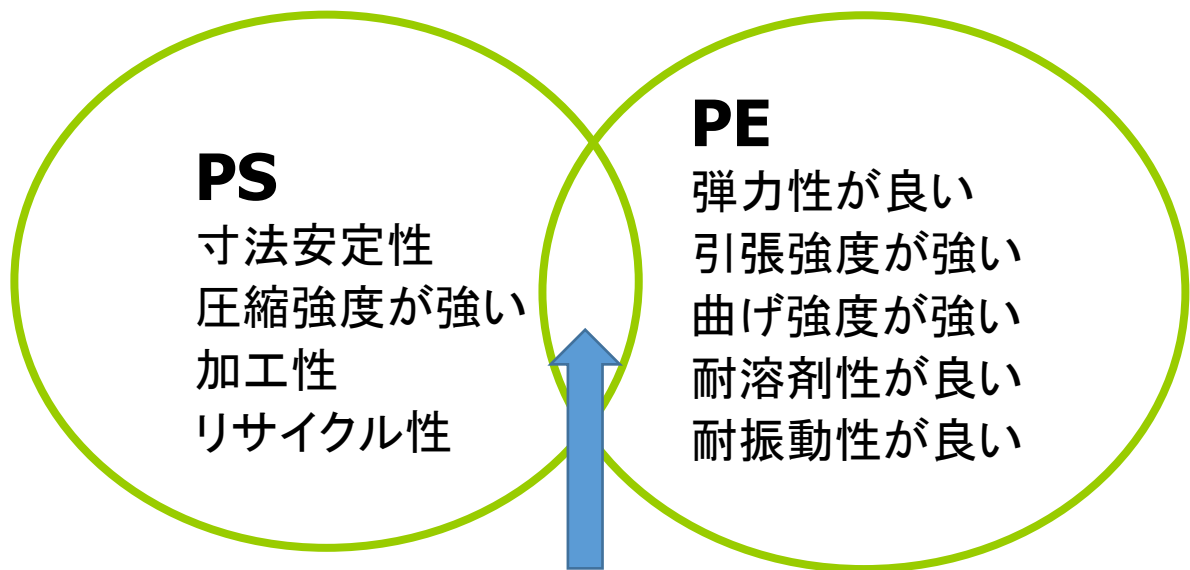
AKボード(アーセル)はPS(スチロール)とPE(ポリエチレン)の共重合ブロックです。

PSの特性である**加工性と寸法安定性**と

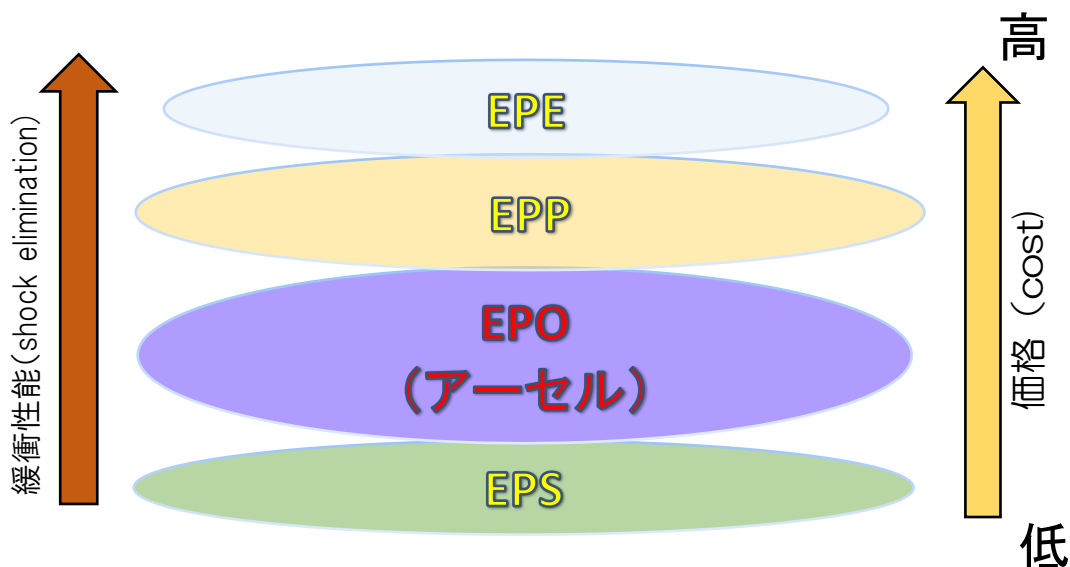
PEの特性である**強度と弾性、粘り**を組合わせた技術です。

両方の樹脂の特性を持つため、今までスチロールでは不可能だった**抜き加工**や**熱貼り**が可能です。

価格もPP(ポリプロピレン)やPE(ポリエチレン)のオレフィン系に比べ安価な為、これまでスチロールかオレフィン系かの二者択一しかできなかった加工素材に新たな選択肢が出来ました。



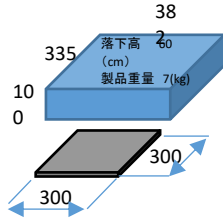
ARCEL.



評価テスト項目 (アーセル730)

①落下テスト ※アーセルは他の材料と比較しても同等の緩衝能力がある。

【試験条件】
 落下高: 60cm
 製品重量: 7(kg)
 テスト材料
 ①アーセル45倍
 ②アーセル55倍
 底面G値のみ



(測定) (緩衝材厚 10mm~50mmの10mm刻みにてG値を測

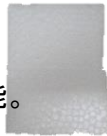
定)

材料	50mm厚	40mm厚	30mm厚	20mm厚	10mm厚
アーセル45倍	98.8	93.6	90.8	104	93.6
アーセル55倍	88.4	86	90.8	83.2	93.6

②接着テスト ※アーセルを使用してもエペラン同様の熱貼りができる。

ヒートガンにて熱貼りできるかテスト

試験結果: 問題なく熱貼りが可能。



熱貼り状況



接着部 破断面

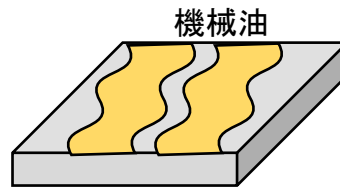


ヒートガン

④耐油テスト ※アーセルは機械油の影響をうけない。

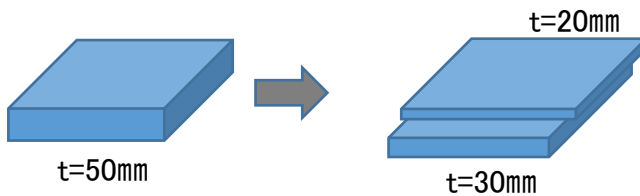
機械油につけ変化がでるか確認

試験結果: 変化なし(96時間後)



⑤スライステスト ※スライス公差はなく、アーセル専用設定の必要なし。

各50mm厚の材料を30mm、20mmにスライスし違いがあるか計測確認



試験結果: 公差はでなかった。

※アーセル専用設定などは必要なし



NOVA Chemical の概要

- ▶ 北米にてオレフィン・ポリオレフィン及びスチロール・エチレンポリマーを生産する主な製造メーカーの一つとして、年間生産量は約700万トン(オレフィン)・340万トン(スチロール/スチレンポリマー)です。
- ▶ 2014年度の売上高は52億ドルで、雇用人数は約2600人
- ▶ ARCELはNOVAが生産する一種の高性能発泡樹脂の商品名です。
- ▶ アジア向け製品の生産拠点: 中国・寧波

製造・販売

小島工業株式会社 関東営業所
 〒332-0035
 埼玉県川口市西青木2-8-28
 TEL048-497-1350 FAX048-497-1530
 URL: <http://www.kojimakogyo.jp/>